



2022年3月10日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社  
代表取締役社長 CEO 安川 健司  
(コード: 4503、東証第一部)  
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)  
決算期 3月  
問い合わせ先 コーポレート・アドボカシー&リレーション部長  
藤井 郁乃  
(Tel: 03-3244-3201)

## 自己株式の取得結果および取得終了、 ならびに自己株式の消却に関するお知らせ

- 会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得  
および会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京)は、2022年2月2日開催の取締役会において決議した会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得の状況を下記の通りお知らせします。なお、これをもちまして自己株式の取得は終了しました。

また、2022年3月29日に実施予定の会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却につきまして、消却する株式の数が確定しましたので、あわせてお知らせします。

### 記

#### 1. 自己株式の取得状況

- |                |                        |
|----------------|------------------------|
| (1) 取得した株式の種類  | 当社普通株式                 |
| (2) 取得した株式の総数  | 11,096,700 株           |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 20,642,021,200 円       |
| (4) 取得期間       | 2022年3月1日から2022年3月9日まで |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付        |

#### 2. 自己株式の消却

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式   |
| (2) 消却する株式の数  | 25,935,500 株<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.40%) |
| (3) 消却予定日     | 2022年3月29日                                     |

(ご参考)

1. 自己株式の取得に関する取締役会での決議内容(2022年2月2日)
  - (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
  - (2) 取得しうる株式の総数 2,900万株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.57%)
  - (3) 株式の取得価額の総額 500億円(上限)
  - (4) 取得期間 2022年2月3日から2022年3月24日まで
  
2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計
  - (1) 取得した株式の総数 25,935,500株
  - (2) 取得価額の総額 49,999,849,800円  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.40%)
  
3. 2022年2月2日に決定した自己株式消却の内容
  - (1) 対象株式の種類 当社普通株式
  - (2) 消却する株式の数 上記2により取得した自己株式の全株式数
  - (3) 消却予定日 2022年3月29日
  
4. 消却後の株式の状況
  - (1) 発行済株式総数 1,835,851,575株となる見込みです
  - (2) 自己株式総数 8,845,998株となる見込みです  
(上記(1)、(2)の見込み株式数は、2022年2月28日現在の発行済株式総数および自己株式総数を基準に算出しています。)

以上

#### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定

されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。